

三心を磨く

学校だより NO. 53
平成31年 1月 9日(水)発行
須坂市立東中学校
文責：金井 勝久(教頭)
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

3学期始業式校長講話

批判的に自分の頭で考える

平成31年、2019年の初めに当たり、新年の挨拶を、全員でさわやかにしたいと思います。

「新年、明けましておめでとうございます」

13日間あった年末年始休業でしたが、3年生は進路実現に向けた学習に、しっかりと取り組めたでしょうか。また、1・2年生のみなさんは、家族と共に過ごす時間を、大事にできたでしょうか。今日から3学期が始まります。2学期終業式の折、1月9日には、全員が新しい年への決意を胸に、元気にさわやかに登校してほしいと話をしました。今朝は寒さが一段と厳しく感じられましたが、その寒い分、3学期のスタートに当たり、気持ちが引き締まるこの感覚を大事にしたいものです。



さて、3学期は、45日間しかない短い学期です。しかし3年生にとっては、義務教育9カ年の最後の45日間であり、自分の進路を具体的に決定し実現させていかななくてはなりません。

2年生にとっては、自分自身を磨きつつ、東中学校を、そして東中学校生徒会をどうするのかを、固めていかななくてはなりません。

1年生は、一段と力をつけるとともに、新入生に対して、自分は何ができるのかを考える時期でもあります。それぞれの学年の、一人一人の足跡が自分自身を創るとともに、東中学校を創っていくわけです。そのように考えると、3学期は、45日間という短い3学期ではありますが、一日一日が、とても大切になってきます。

今、代表の3人のみなさんが、3学期に寄せる決意や思いを立派に発表してくれました。その学年、その人ならではの決意であり、とても立派だと思いました。聞いていたみなさんは、どんな決意や思いを持って、3学期を始めようとしているのでしょうか。

平成31年、2019年が始まりました。みなさんも知っているように、現在の天皇陛下が4月30日に退位し、新天皇が5月1日に即位することとなっています。憲政史上初めての退位と即位になります。新しい元号が何になるかは分かりませんが、平成が終わり新しい時代の幕開けになることは、まぎれもない事実であり、一つの大きな節目の年となるものと思われまます。

また、来年、2020年には東京オリンピック、パラリンピックが開催されます。日本は、この2020年を境に大きく変わり、2030年を見据えた政治、経済、科学技術、情報化等が目まぐるしく展開すると同時に、大きな課題も指摘されています。



課題もたくさんありますが、私たちの生活を便利にし、スマートにしてくれるものもたくさんあります。特にAI人工知能の発展により、私たちの生活は、より便利になることと思います。反面、私が一番みなさんに考えてほしいことは、これだけ多くの情報を手に入れることができる世の中であって、それらの情報を判断するみなさん自身はどうですかということです。インターネットとそれに伴う無線ラン、Wi-Fi等の発展により、いつでも、どこでも世界中の情報を手に入れることのできる世の中になってい



ます。私も、ここにスマホがあり、IPADがあり、みなさんに話をしながらも、世界中の情報を瞬時に見たり、場合によっては発信したりすることができます。学校の授業で学習していない内容でも、みなさんが、興味があり、調べてみたいと思うことは、どんなことでも調べることができますし、問題集にない問題に挑戦したいと思う人は、挑戦することもできます。それ自体は、とても素晴らしいことだと私は思っています。



しかし、みなさんに考えてほしいことは、手に入れた情報は、すべて正しい情報ですかということです。みなさんも知っているように、中には「フェイクニュース」と言われ、でたらめな、根拠のない情報もたくさん含まれていますし、むしろ、そのような情報の方が多いのかもしれません。そこで、みなさんには「批判的に考える」という習慣を身に付けてほしいと思います。「批判的に考える」というのは、何でもおかしい、違うと否定的に考えることではありません。本当にそうなのか、何を根拠にしているのかと自分の頭でしっかり考えて判断することです。情報をうのみにせず、まずは自分の

経験や学習したことを基に、その真偽を自分なりに考え判断することです。誰々が言っていたから、インターネットに書いてあったからという理由では、自分の判断にはなりません。どうかこれからの情報化社会であって、判断を間違えないように、批判的に自分の頭で考える習慣をつけてください。

今日は、これからの新しい時代を生きるみなさんに、身に付けてほしい能力について話をしました。寒い時期を迎えています。健康に気をつけ、元気で3学期を乗り越えましょう。

保護者・地域の皆様、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

年末年始休業中、職員全員で「非違行為防止研修」を行ったり、11月に行った「学校評価アンケート結果の分析」をしたりしました。アンケートの分析から見えてきた課題は、「家庭学習の時間や量の不足」「活用する力を育むためのさらなる授業改善の必要性」「学力の二極化の進行」などでした。

これらの課題を解決するために、「具体的にどのように指導していくのか」について話し合い、来年度にむけた3学期のあり方を考え、その取組や方策を確認しました。

いよいよ3学期です。「まとめ」「節目」の学期であり、来年度への「助走の時間」でもあります。

3年間の取組の集大成として、さらに授業の質を高め、家庭学習・補習などに取り組み、「学力向上」に向けて努力をしてみたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。

東中学校 校長 北村 雅